

栗子トンネル貫通式

日時 平成26年3月22日(土)
10:00～11:00
会場 栗子トンネル坑内(山形県・福島県県境)
主催 福島側：清水・大豊特定建設工事共同企業体
山形側：三井住友建設株式会社

次 第

- 一、開式(※)
- 一、貫通発破(※)
- 一、貫通確認・貫通報告(※)
- 一、貫通点清め
- 一、通り初め
- 一、樽神輿入場
- 一、子供樽神輿入場
- 一、施工者謝辞
- 一、閉式

(※)は、貫通点を挟み福島側と山形側で各々開催

栗子トンネル貫通祝賀式

日時 平成26年3月22日(土)
11:00～(1時間程度)
会場 栗子トンネル坑内(山形県・福島県県境)
主催 福島市、米沢市
清水・大豊特定建設工事共同企業体
三井住友建設株式会社

次 第

- 一、開式
- 一、主催者挨拶
- 一、事業経緯説明
- 一、来賓祝辞
- 一、来賓紹介・祝電披露
- 一、意見発表
- 一、鏡開き
- 一、アトラクション(飯坂八幡神社祭り太鼓保存会・万世町梓山獅子踊り)
- 一、乾杯
- 一、万歳三唱
- 一、閉式



貫通式 開式



貫通発破



貫通



子供神輿によるお祝い

東北中央自動車道 (福島～米沢北)



トンネル内の工事
切羽の様子

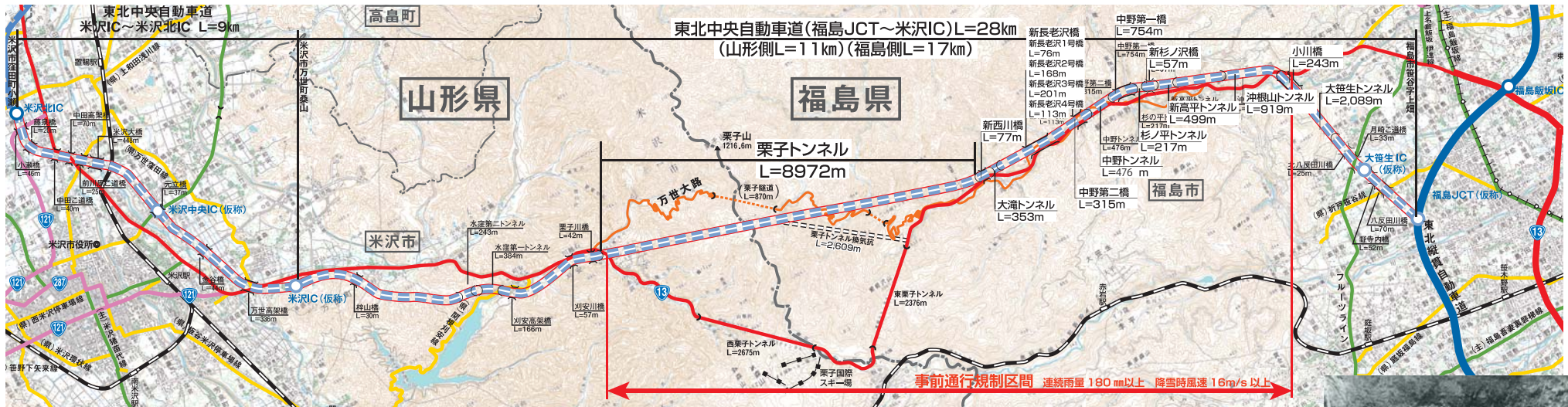


小川橋(243m)
張り出し工法



東北中央自動車道
整備区間図
ネットワークはH25.6現在

東北中央自動車道(福島～米沢北)(延長37km)は平成10年度に日本道路公団(現在、東日本高速道路株)が事業着手、平成15年度から国土交通省が工事を進めています。中でも栗子トンネルは「雪に強く信頼性の高い道路」にするため現在の国道13号より約190m低い位置を通過し、総延長は約9kmとなります。平成29年度の供用を予定しています。

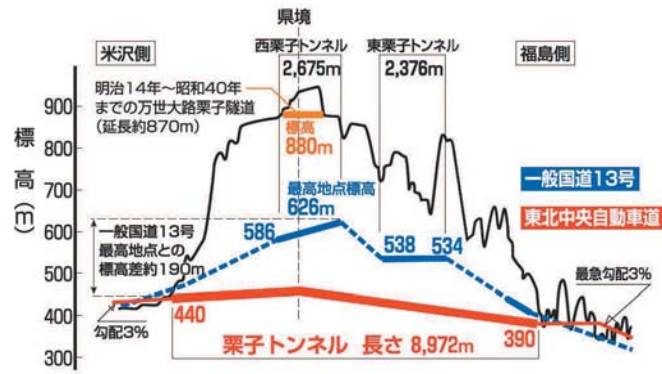


万世大路

～萬世ノ永キニ渡リ人々ニ愛サレル道トナレ

万世大路(明治天皇命名)とは、福島と米沢を結ぶ幹線道路のこと。現在の国道13号は第三世代。東北中央自動車道は第四世代にあたります。常にその時代の最新技術をもって建設されている。平成24年9月に土木学会の選奨土木遺産に認定されました。

第一世代(右)栗子山隧道
第二世代(左)栗子隧道



- 第一世代 栗子山隧道(明治9年8月～明治14年9月)荷馬車のみ可。米国製最新鋭削岩機を投入して工事。
- 第二世代 栗子隧道(昭和8年4月～昭和12年3月)栗子山隧道870mのうち810mを活用し拡幅。自動車通行可能だが冬期5箇月は積雪のため通行不可。
- 第三世代 現在の栗子道路(昭和36年10月～昭和41年5月)
- 第四世代 東北中央自動車道



栗子隧道の工事
昭和9年頃



西栗子トンネル掘工事
昭和41年5月29日